

平成 25 年 南砺市市民意識調査 概要

I 調査実施要領

(1) 調査の目的

この調査は、「南砺市総合計画後期基本計画」における成果指標の目標値の達成率などから施策の実行度合いや成果の把握の参考資料とすることを目的とする。

(2) 調査対象

南砺市在住の満 20 歳以上（平成 25 年 5 月 31 日時点）の方から 3,000 人を無作為に抽出。

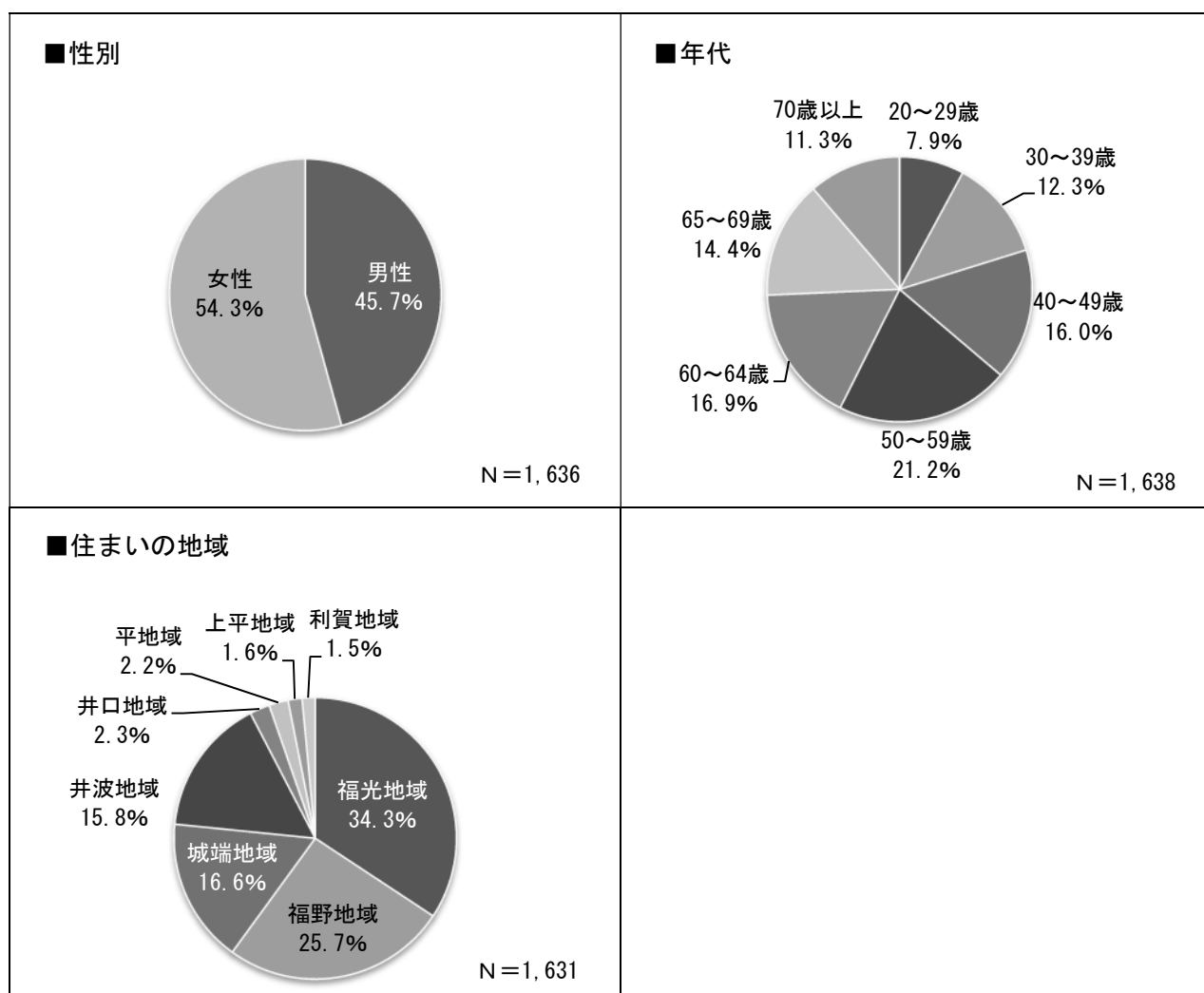
(3) 有効回答数

1,638 人（有効回答率 54.6%）

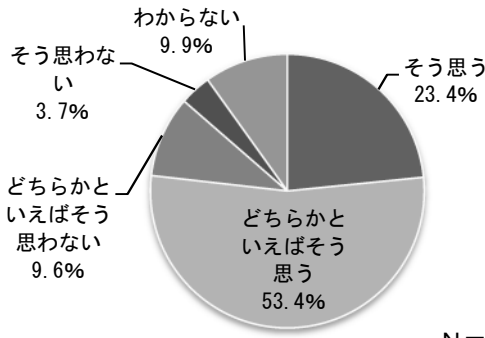
(4) 調査方法

郵送による配布・回収

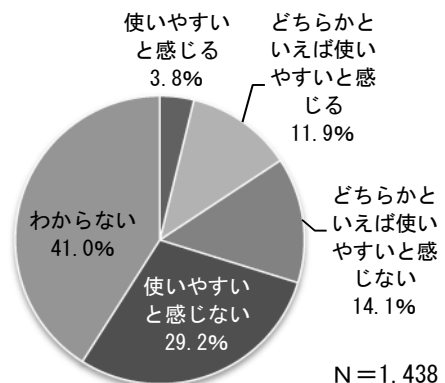
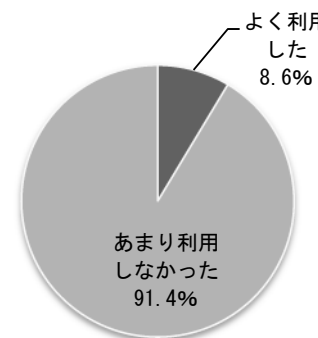
(5) 回答者の性別・年代・住まいの地域



II 調査結果の概要

<p>1 自然環境の保全（問10）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然環境が美しく保たれているかについては、7割強の市民が美しく保たれていると感じている。 <p>■美しい自然環境の保全</p>  <p>N=1,638</p> <table border="1"> <tr> <td>そう思う</td> <td>23.4%</td> </tr> <tr> <td>どちらかといえば思う</td> <td>53.4%</td> </tr> <tr> <td>どちらかといえば思わない</td> <td>9.6%</td> </tr> <tr> <td>わからない</td> <td>9.9%</td> </tr> <tr> <td>そう思わない</td> <td>3.7%</td> </tr> </table>	そう思う	23.4%	どちらかといえば思う	53.4%	どちらかといえば思わない	9.6%	わからない	9.9%	そう思わない	3.7%	<p>2 エコビレッジ活動（問11）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エコビレッジ活動についてみると、「ごみの再資源化（資源ごみの分別、再生品利用など）」が73.2%と最も多く、次いで「ごみの減量化（マイバック、簡易包装、生ゴミ処理機の導入など）」が71.0%となっている。 <p>■エコビレッジ活動TOP3</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>1位</th> <th>2位</th> <th>3位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ごみの再資源化（資源ごみの分別、再生品利用など）</td> <td>ごみの減量化（マイバック、簡易包装、生ゴミ処理機の導入など）</td> <td>地球温暖化防止の対策（電気・ガスの節約、車のエコドライブ、公共交通機関の利用など）</td> </tr> <tr> <td>73.1%</td> <td>71.0%</td> <td>33.2%</td> </tr> </tbody> </table>	1位	2位	3位	ごみの再資源化（資源ごみの分別、再生品利用など）	ごみの減量化（マイバック、簡易包装、生ゴミ処理機の導入など）	地球温暖化防止の対策（電気・ガスの節約、車のエコドライブ、公共交通機関の利用など）	73.1%	71.0%	33.2%
そう思う	23.4%																			
どちらかといえば思う	53.4%																			
どちらかといえば思わない	9.6%																			
わからない	9.9%																			
そう思わない	3.7%																			
1位	2位	3位																		
ごみの再資源化（資源ごみの分別、再生品利用など）	ごみの減量化（マイバック、簡易包装、生ゴミ処理機の導入など）	地球温暖化防止の対策（電気・ガスの節約、車のエコドライブ、公共交通機関の利用など）																		
73.1%	71.0%	33.2%																		

<p>3 市内幹線道路（問12、13）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内の幹線道路については、3割強の市民が不都合を感じている。 ・不都合な理由の1位は、「危険箇所がある」である。 <p>■市内幹線道路の不都合な理由TOP3</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>1位</th> <th>2位</th> <th>3位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>危険箇所がある</td> <td>道路がきちんと舗装されていない</td> <td>右折レーンがない</td> </tr> <tr> <td>47.1%</td> <td>23.4%</td> <td>22.4%</td> </tr> </tbody> </table>	1位	2位	3位	危険箇所がある	道路がきちんと舗装されていない	右折レーンがない	47.1%	23.4%	22.4%	<p>4 生活道路（問14、15）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活道路については、4割強の市民が不都合を感じている。 ・不都合な理由の1位は、「危険箇所がある」である。 <p>■市内生活道路の不都合な理由TOP3</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>1位</th> <th>2位</th> <th>3位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>危険箇所がある</td> <td>カーブミラーやガードレールがない</td> <td>道路がきちんと舗装されていない</td> </tr> <tr> <td>43.2%</td> <td>25.3%</td> <td>24.2%</td> </tr> </tbody> </table>	1位	2位	3位	危険箇所がある	カーブミラーやガードレールがない	道路がきちんと舗装されていない	43.2%	25.3%	24.2%
1位	2位	3位																	
危険箇所がある	道路がきちんと舗装されていない	右折レーンがない																	
47.1%	23.4%	22.4%																	
1位	2位	3位																	
危険箇所がある	カーブミラーやガードレールがない	道路がきちんと舗装されていない																	
43.2%	25.3%	24.2%																	

<p>5 公共交通機関（問16）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共交通機関については、9割強の市民が「あまり利用しなかった」と答えている。 ・使いやすさについても、半数以上が「わからない」と答えている。 															
<p>■公共交通機関の使いやすさ（JR城端線）</p>  <p>N=1,438</p> <table border="1"> <tr> <td>使いやすいと感じる</td> <td>3.8%</td> </tr> <tr> <td>どちらかといえば使いやすいと感じる</td> <td>11.9%</td> </tr> <tr> <td>どちらかといえば使いやすいと感じない</td> <td>14.1%</td> </tr> <tr> <td>使いやすいと感じない</td> <td>29.2%</td> </tr> <tr> <td>わからない</td> <td>41.0%</td> </tr> </table>	使いやすいと感じる	3.8%	どちらかといえば使いやすいと感じる	11.9%	どちらかといえば使いやすいと感じない	14.1%	使いやすいと感じない	29.2%	わからない	41.0%	<p>■公共交通機関の利用状況（JR城端線）</p>  <p>N=1,493</p> <table border="1"> <tr> <td>よく利用した</td> <td>8.6%</td> </tr> <tr> <td>あまり利用しなかった</td> <td>91.4%</td> </tr> </table>	よく利用した	8.6%	あまり利用しなかった	91.4%
使いやすいと感じる	3.8%														
どちらかといえば使いやすいと感じる	11.9%														
どちらかといえば使いやすいと感じない	14.1%														
使いやすいと感じない	29.2%														
わからない	41.0%														
よく利用した	8.6%														
あまり利用しなかった	91.4%														

6 災害時の備え（問17）

- ・災害時の食料や水を3日以上備えている市民は約2割となっている。
- ・住宅用火災警報器、消火用器具については、大半が備えている。

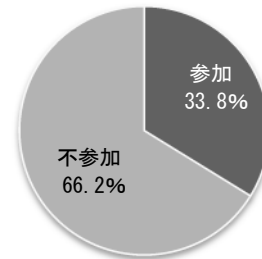
■市民が取り組む災害に対する備えTOP3

1位	2位	3位
住宅用火災警報器	消火用器具	災害時に避難する場所を決めている
81.0%	71.4%	34.5%

7 交通安全活動（問18、19）

- ・市民の約3割が過去1年間に交通安全活動に参加している。
- ・活動の内容は「交通安全街頭指導」、「交通安全教室」などである。

■交通安全活動や行事への参加



N=1,616

8 犯罪被害の防止（問20）

- ・犯罪を防止するため、自動車内の貴重品の管理、悪徳商法、家の戸締りに注意を払っている市民が多い。

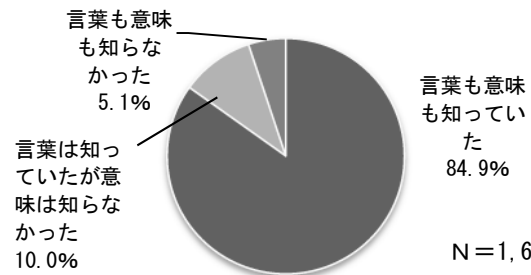
■犯罪に遭わない取り組みTOP3

1位	2位	3位
自動車を離れるときに、貴重品やバッグなどを車内に置かない	悪質商法などの消費者被害にあわないよう気をつけている	出かけるときは必ず戸締りを確認する
75.6%	67.3%	64.9%

9 クーリング・オフ制度（問21）

- ・8割強の市民が言葉も意味も知っている。

■クーリング・オフ制度を知っているか

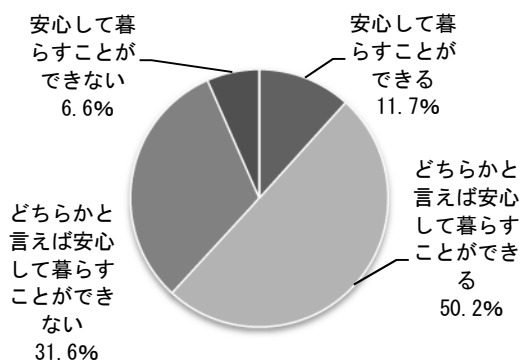


N=1,615

10 冬季の暮らし（問22、23）

- ・約7割の市民が冬季も安心して暮らせると答えている。
- ・冬季の暮らしが不安だという要因には、住居や道路の除雪の不十分さがある。

■冬季の暮らし

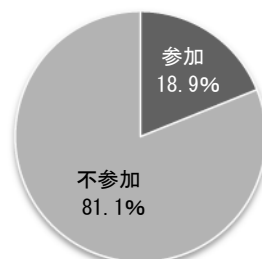


N=1,627

11 冬季のイベント（問24）

- ・約8割の市民が過去1年に雪を活用したイベントへ参加していない。
- ・利賀地域の方は9割以上が冬季のイベントに参加している。

■冬季のイベント

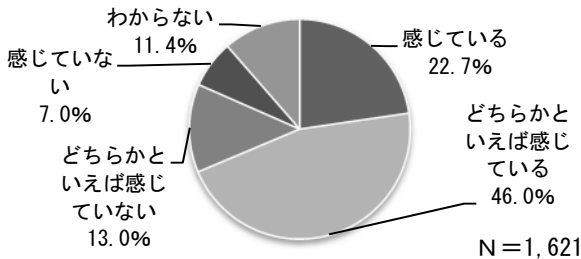


N=1,623

12 南砺市への誇り・愛着（問25）

・約7割の市民が南砺市への誇り・愛着を感じている。

■南砺市への誇り・愛着



13 現在の住まいの住みやすさ（問26、27）

・約7割の市民は、現在の住まいが住みやすいと答え、今後も住み続けたいと思っている。
 ・住みにくいと答えた方の理由の約6割は「老朽化している」である。

■現在の住まいが住みにくい理由TOP3

1位	2位	3位
老朽化している	耐震化されていない	克雪化されていない
58.2%	45.5%	27.0%

14 現在住む地域にすみ続けたいか（問29、30）

・今後も住み続けたい理由は「自然が豊かだから」、「通勤・通学に便利な立地だから」がある。
 ・引っ越しをしたいと答えた理由は「買い物など日常生活に不便」、「公共交通が不便」がある。

■現在住む地域に住み続けたい理由 TOP3

1位	2位	3位
自然が豊かだから	通勤・通学に便利な立地だから	高齢者支援が充実しているから
62.9%	26.6%	8.0%

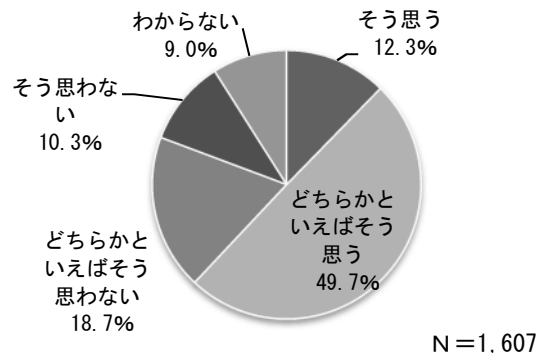
■現在住む地域から引っ越したい理由 TOP3

1位	2位	3位
買い物など日常生活に不便	公共交通が不便	医療機関が充実していない
47.4%	43.7%	39.3%

15 快適な景観・まちなみ（問31、32）

・約7割の市民が、快適な景観の中で暮らしていると思っている。
 ・6割強の市民が、まちなみが美しく保たれていると思っている。

■美しいまちなみの保全



16 河川の汚染（問33、34）

・約半数の市民が、身近な河川が汚れていると感じており、その理由は「ごみが落ちている」、「雑草が茂っている」である。

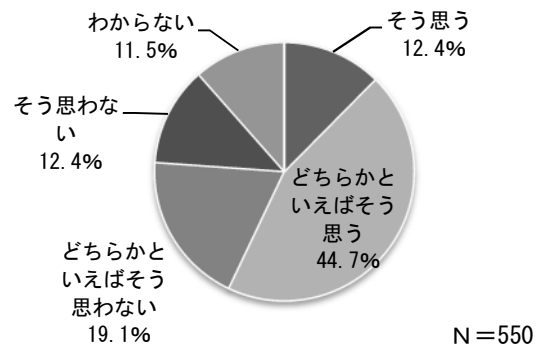
■川が汚れていると感じる理由TOP3

1位	2位	3位
ごみが落ちている	雑草が茂っている	河川の水が汚れている
65.1%	52.7%	32.0%

17 就労しながら無理なく子育てできるか（問36）

・18歳未満の子どもを持つ家庭の半数以上が、就労しながら無理なく子育てできていると思っている。

■就労しながら無理なく子育てできるか



18 子ども・子育て（問37、38）

- ・就労しながら無理なく子育てできる理由としては、「保育サービスの充実」、「子どもを預ける場の充実」、「医療費助成の充実」がある。
- ・反対に就労しながら無理なく子育てできない理由としては、「小児医療の不十分さ」、「子どもを遊ばせる場の少なさ」がある。

■就労しながら無理なく子育てできる理由 TOP3

1位	2位	3位
保育サービスが充実	子どもを預ける場が充実	医療費助成が充実
52.4%	50.3%	43.9%

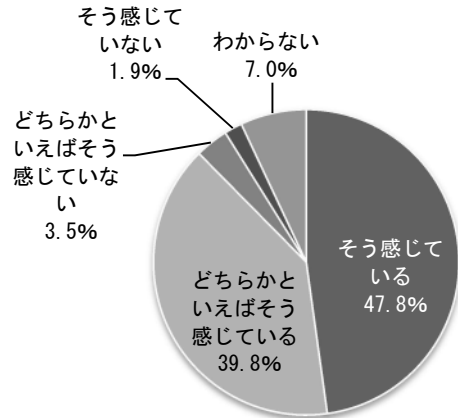
■就労しながら無理なく子育てできない理由 TOP3

1位	2位	3位
小児医療体制が不十分	子どもを遊ばせる場が不十分	教育環境が不十分だから
42.3%	39.9%	25.2%

19 子育てに喜びや生きがいを感じるか（問39）

- ・18歳未満の子どもを持つ家庭の8割以上が、子育てに喜びや生きがいを感じている。

■子育てに喜びや生きがいを感じるか

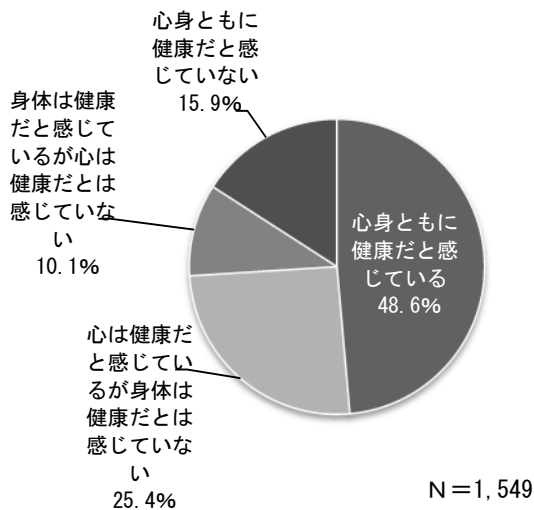


N=540

20 心身の健康（問40）

- ・約半数の市民は、心身ともに健康であると感じている。

■心身の健康

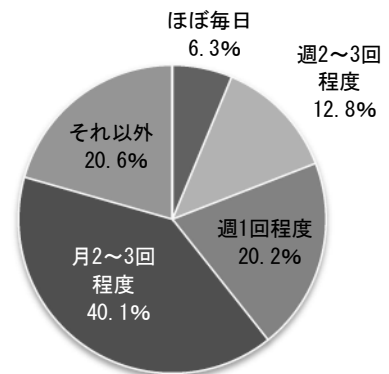


N=1,549

21 学習活動（問41、42、43）

- ・約7割の市民は、日頃の学習活動に取り組んでいない。
- ・学習活動に取り組んでいる方の活動頻度は、「月2～3回程度」が多い。
- ・学習活動に取り組んでいる方の約7割は、学んだことを他の人に教えたり、生活に役立てたりしている。

■学習活動の頻度

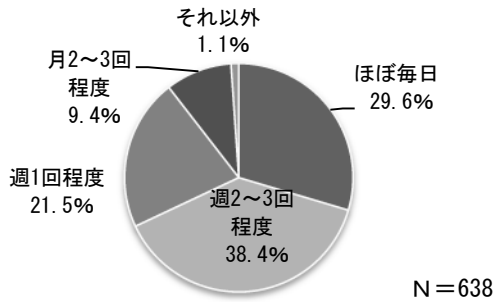


N=431

22 スポーツ・運動（問44、45）

- ・約4割の市民は、日頃からスポーツや運動を行っている。
- ・スポーツや運動を行っている方の活動頻度は、週に2～3回程度が多い。

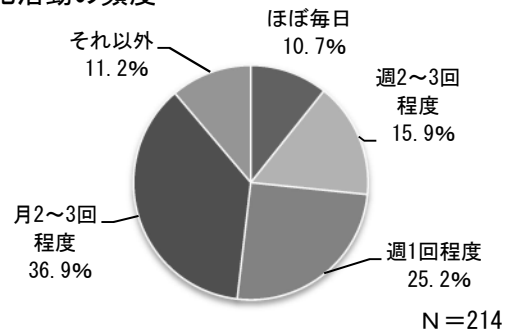
■スポーツ・運動の頻度



23 文化活動（問46、47）

- ・8割以上の市民は、積極的に文化活動を行っていない。
- ・文化活動を行っている方の活動頻度は、月2～3回程度が多い。

■文化活動の頻度



24 買い物（問48、49）

- ・3割強の市民は、地場産の食材を意識して購入している。
- ・食料品、日用雑貨などの購入頻度が高い物は、南砺市内で購入している方が多い。
- ・衣料品、電化製品、趣味に関するものなどの購入頻度が低い物は、「砺波市」、「金沢市」、「インターネット」で購入する方が多い。

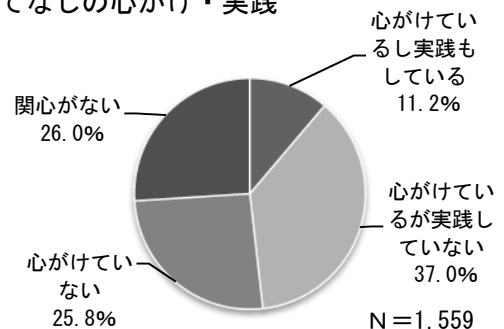
■市民が買い物をする行き先TOP3

	1位	2位	3位
食料品	南砺市内	砺波市	金沢市
	89.1%	54.9%	3.9%
日用雑貨	南砺市内	砺波市	高岡市
	75.6%	57.6%	7.3%
衣料品	砺波市	南砺市内	高岡市
	58.7%	37.3%	25.4%
電化製品	砺波市	南砺市内	高岡市
	75.9%	33.3%	13.3%
趣味のもの	砺波市	南砺市内	高岡市
	40.2%	26.8%	26.8%

25 観光・おもてなし（問50、51）

- ・9割強の市民が里山博体験プログラムに参加したことがない。
- ・観光などで来訪された方に対し、おもてなしを心かけ、実践している市民は約1割である。

■おもてなしの心かけ・実践



<p>26 協働のまちづくり（問52、53、53、54、55）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協働のまちづくりについては、「自治会、町内会、自治振興会等の地域の団体が主体で実施するまちづくり事業」に取り組んでいる人が多い。 ・9割強の世帯が、自治会・町内会に加入しており、7割強は過去1年間に自治会・町内会行事に参加している。 ・自治会・町内会に加入していない方の理由には、「自治会町内会活動に興味がない」、「ほとんど自宅にいないから」がある。 	<p>24 ボランティア活動（問56、57、58）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・約4割の市民は、過去1年間にボランティア活動に参加している。 ・活動内容は「環境分野のボランティア活動」が多い。 ・ボランティア活動に参加していない方の理由には、「どのようなボランティア活動があるかを知らない」、「時間がない」がある。 																								
<p>25 男女共同参画（問59）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画について、知っているし関心もある方は約2割である。 <p>■男女共同参画の認知・関心</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>認知・関心</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>知っているし関心もある</td> <td>18.7%</td> </tr> <tr> <td>知っているが関心はない</td> <td>46.3%</td> </tr> <tr> <td>知らなかったし関心もない</td> <td>25.3%</td> </tr> <tr> <td>知らなかったが関心はある</td> <td>9.7%</td> </tr> </tbody> </table> <p>N=1,544</p>	認知・関心	割合	知っているし関心もある	18.7%	知っているが関心はない	46.3%	知らなかったし関心もない	25.3%	知らなかったが関心はある	9.7%	<p>26 住民基本台帳カード（問60、61）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・約7割の市民は、住民基本台帳カードを持っている。 ・印鑑登録証、住民票等の自動交付機での交付の機能についてはよく知られているが、住民票等のコンビニでの交付、図書館での本の貸出についてはあまり知られていない。 														
認知・関心	割合																								
知っているし関心もある	18.7%																								
知っているが関心はない	46.3%																								
知らなかったし関心もない	25.3%																								
知らなかったが関心はある	9.7%																								
<p>27 情報通信機器（問62）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・8割強の市民は「携帯電話」を利用しており、6割強の市民は「インターネット」を利用している。 <p>■携帯電話の利用</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>利用状況</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用している</td> <td>86.3%</td> </tr> <tr> <td>利用していない</td> <td>13.7%</td> </tr> </tbody> </table> <p>N=1,559</p> <p>■インターネット（パソコン）の利用</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>利用状況</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用している</td> <td>62.9%</td> </tr> <tr> <td>利用していない</td> <td>37.1%</td> </tr> </tbody> </table> <p>N=1,522</p>	利用状況	割合	利用している	86.3%	利用していない	13.7%	利用状況	割合	利用している	62.9%	利用していない	37.1%	<p>28 行政サービス（問63、64）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南砺市の行政サービスの水準については、約半数の市民が適正であると思っている。 ・適正でないと思う理由には、「手続き・対応に時間がかかる」や「窓口等での接遇が悪い」などがある。 <p>■行政サービス水準の適正</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>どちらかといえばそう思う</td> <td>38.9%</td> </tr> <tr> <td>わからない</td> <td>31.2%</td> </tr> <tr> <td>どちらかといえばそう思わない</td> <td>12.4%</td> </tr> <tr> <td>そう思う</td> <td>9.8%</td> </tr> <tr> <td>そう思わない</td> <td>7.7%</td> </tr> </tbody> </table> <p>N=1,597</p>	評価	割合	どちらかといえばそう思う	38.9%	わからない	31.2%	どちらかといえばそう思わない	12.4%	そう思う	9.8%	そう思わない	7.7%
利用状況	割合																								
利用している	86.3%																								
利用していない	13.7%																								
利用状況	割合																								
利用している	62.9%																								
利用していない	37.1%																								
評価	割合																								
どちらかといえばそう思う	38.9%																								
わからない	31.2%																								
どちらかといえばそう思わない	12.4%																								
そう思う	9.8%																								
そう思わない	7.7%																								

29 南砺市の満足度（問 65）

- ・南砺市の満足度について、満足度が高いものは「水道の安定供給や安全性」、「衛生的な生活への下水道の普及」などがある。
- ・一方で、満足度が低いものには「公共交通機関の利便性」、「地域に活力を生み出す雇用対策」などがある。

■ 市政への満足度

